

5人元気に搭乗

1年7カ月ぶりに再会へ

【平壤22日共同】もつす
く両親に会える。蓮池薫
さん夫妻と地村保志さん夫
時間同、平壤国際空港か



政府専用機予備機に向かう地村さんと
蓮池さんの子どもたち。22日午後6時
27分、平壤国際空港(代表撮影・共同)

ら政府専用機の予備機で両親の待つ日本に向かった。一年七カ月ぶりの両親との再会。搭乗口に向かう足取りは全員のしつかりして元気そうだが、初めての日本に期待と不安が入り交じった表情をのぞかせた。

五人は、蓮池さんの長女パク・ヨンファさん(22)と長男パク・ギヒョクさん(19)、地村さんの長女オ・ギョンエさん(22)と長男のオ・ギョンスンさん(20)、一男オ・ギョンスン(16)。女性二人はそれぞれベージュと赤のスーツにスカート姿、男性三人は黒いジャケットと白シャツとネクタイ。

出発までターミナルビルの中でしばらく待機する間、女性たちは少し戸惑った様子を見せたが、男性たちは興味深そうに笑顔で滑走路の方を眺めていた。

日本政府当局者らに取り囲まれるようにしてターミナルビルを出ると、黒い大きなバッグを一緒に持ちながら、足早に予備機へ。空港には夕日が照り付け、五人は時折、目を細め、まぶしそうなふりをしながら予備機に乗り込んだ。

一方、これに先立ち平壤のホテルで記者会見した小泉純一郎首相は核問題を中心に成果を懸命に強調したが、曾我ひとみさん(45)の夫の元米兵ジエンキンスさん(64)ら家族三人の来日が決まらなかったことなどから、一切笑顔は浮かべず、厳しい表情のままだった。

被害者の多くが死したとの北朝鮮側の説明で「痛恨の極み」と表明した。○二年九月と同様、会見場に引き立つた雰囲気はなかった。

購読の
お問い合わせは

東奥日报社販売局



0120-46-5939

24時間受付